

2024年7月17日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

概要

全国景気*	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している
長野県内景気	足踏みの状態にある
4月の生産動向	生産は減少している
5月の個人消費	乗用車新車販売は5カ月連続で前年を下回る
5月の公共投資	公共工事保証請負額は5カ月連続で前年を上回る
5月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年を下回る
5月の雇用情勢	有効求人倍率は2カ月連続で前月を下回る

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくかどうかに注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2024年6月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

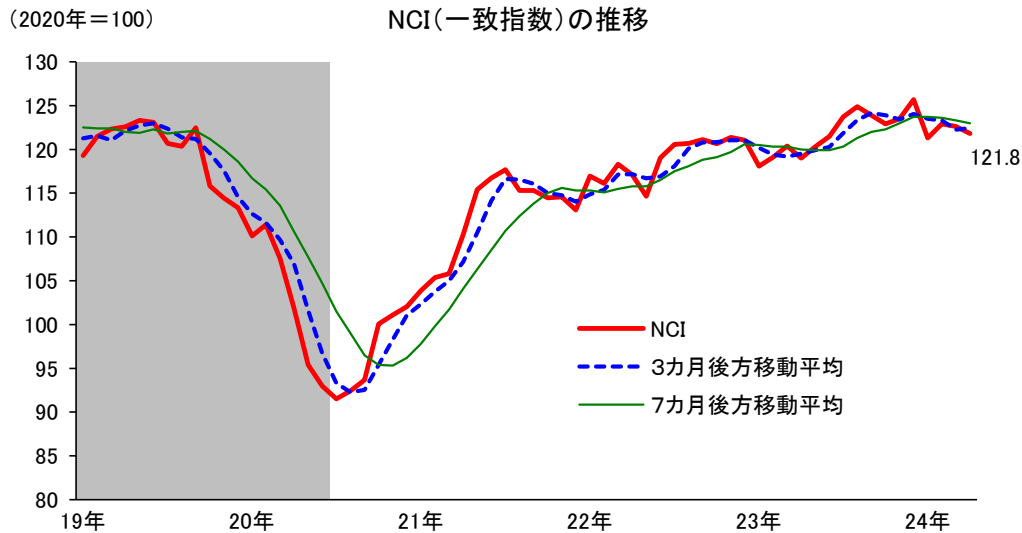
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501



景気動向指数

- ・4月のNCI(一致指数)は、121.8と前月と比較し△0.8ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+0.2ポイントと4カ月ぶりに上昇し、7カ月後方移動平均は同△0.3ポイントと3カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、足踏みを示している。
- ・NDI(一致指数)は、50.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%と同水準となった。

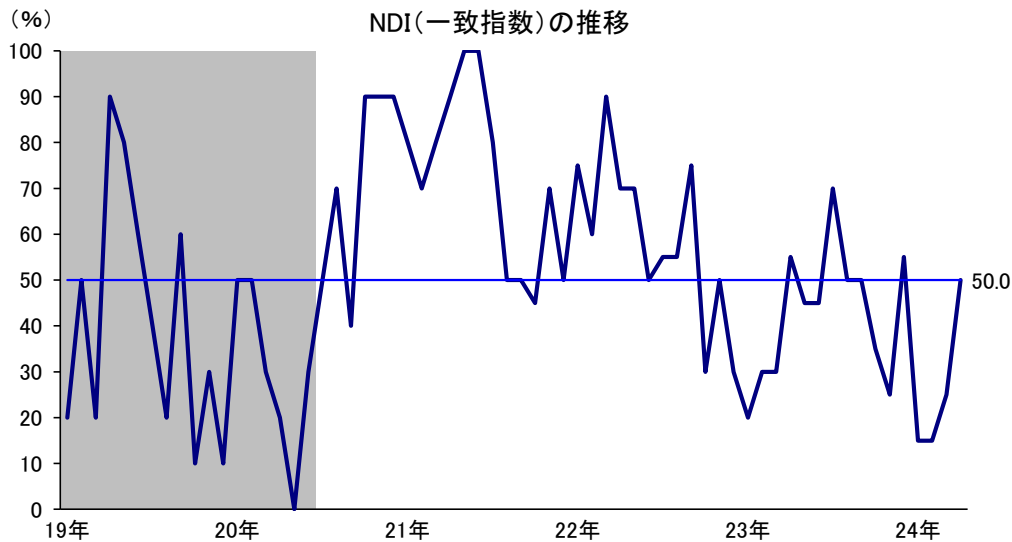


(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

(注) 1. NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す

2. シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

3. 県公表の鉱工業指数のデータ修正や一部雇用関連データ修正に伴い、遡及改訂を行っている



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

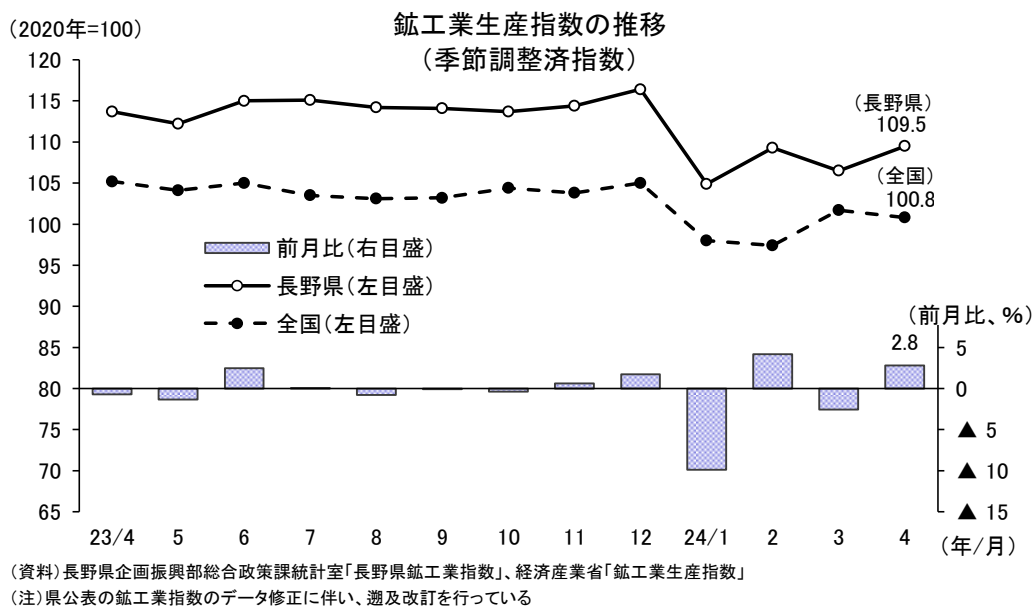
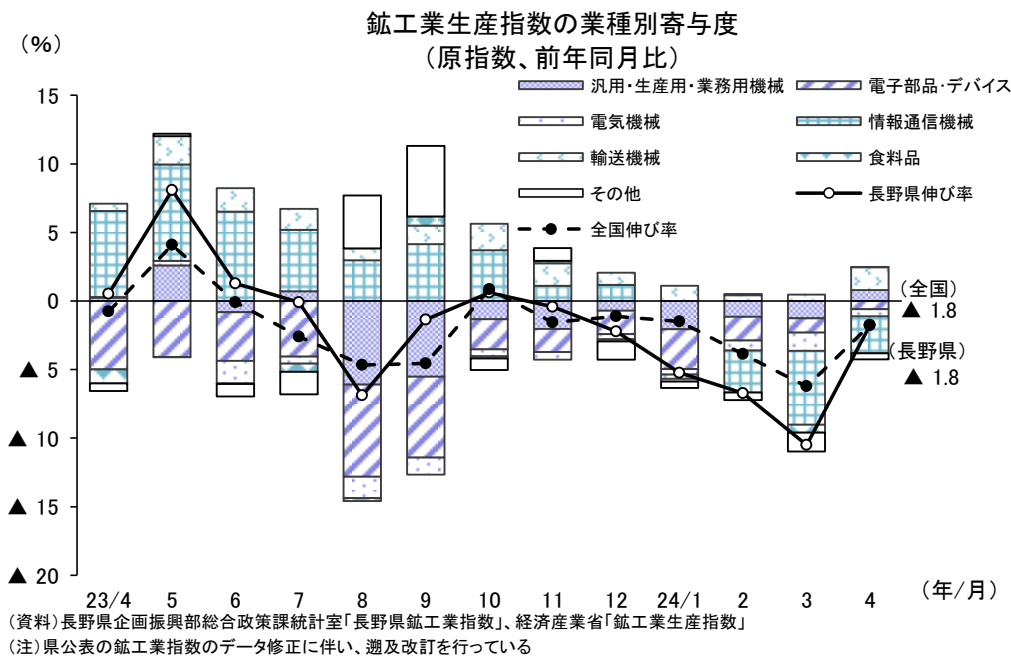
(注) 1. NDIは長野県の景気方向、波及度合いを示す

2. シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

3. 県公表の鉱工業指数のデータ修正や一部雇用関連データ修正に伴い、遡及改訂を行っている

生産は減少している

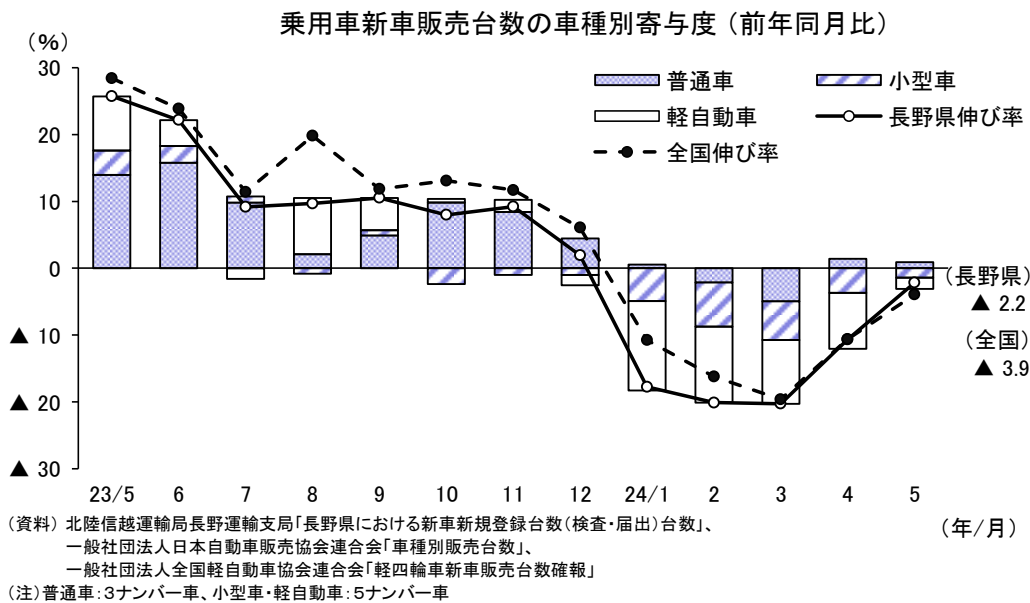
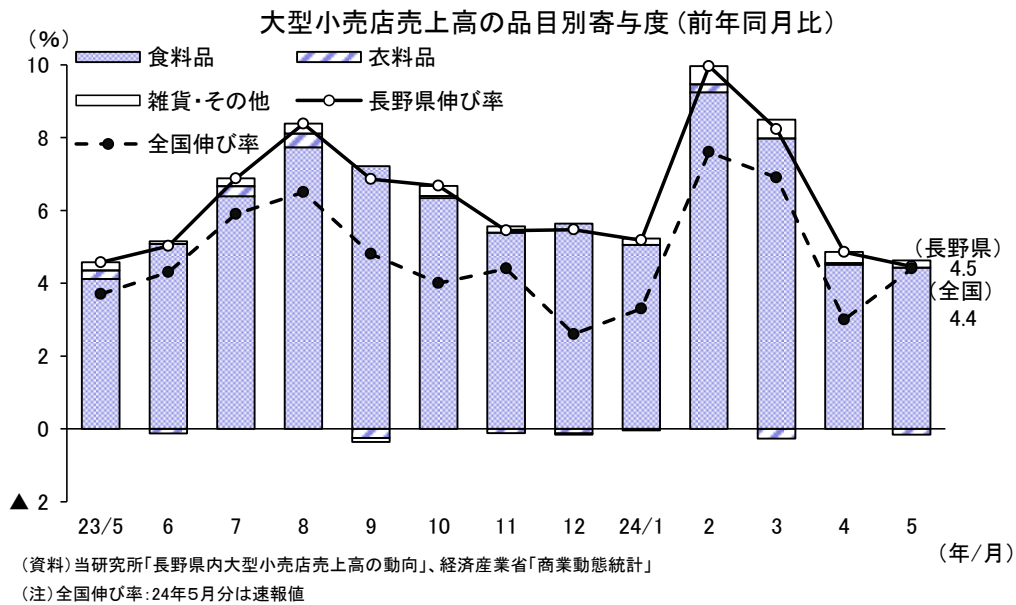
- ・4月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△1.8%、季節調整済指数が前月比+2.8%となった。
- ・季節調整済指数は2カ月ぶりに前月を上回り、原指数は6カ月連続で前年を下回った。一部完成車メーカーの認証不正問題を起因とした生産・出荷停止の影響や中国経済の減速に伴う外需の縮小などにより、生産は減少している。
- ・主要業種別にみると、「輸送機械」「汎用・生産用・業務用機械」などが前年を上回ったものの、「情報通信機械」「電子部品・デバイス」などが前年を下回った。



個人消費

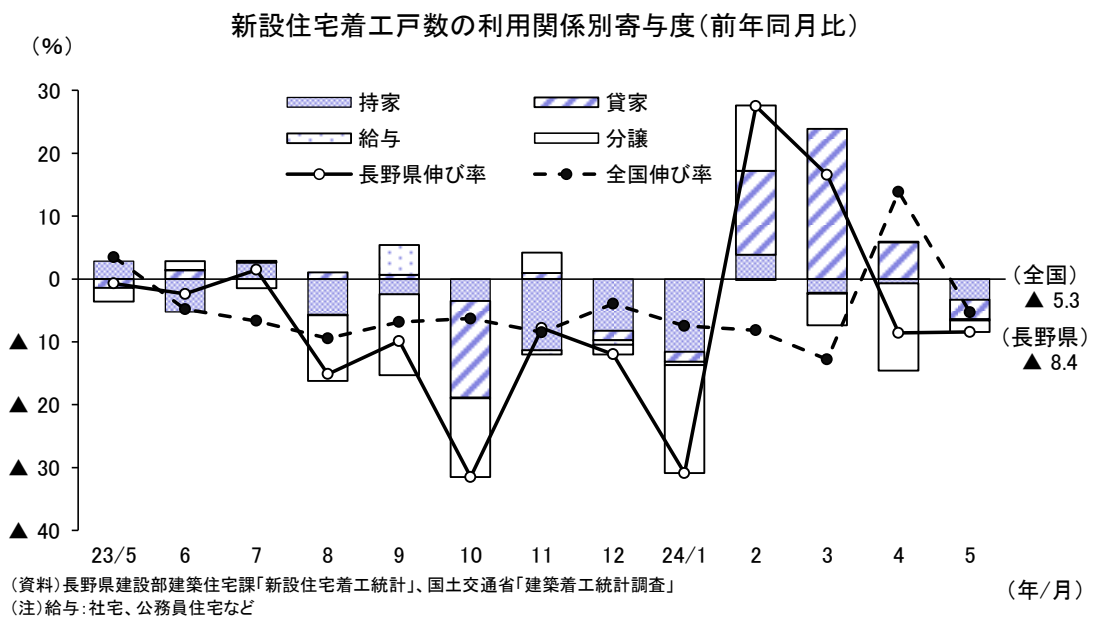
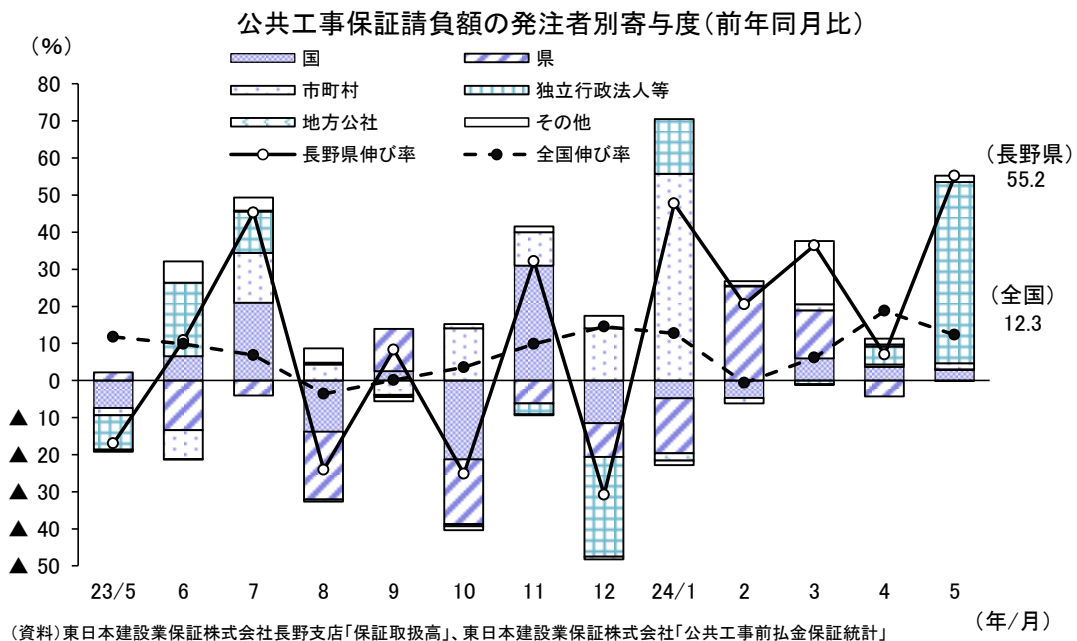
乗用車新車販売は5カ月連続で前年を下回る

- 5月の大型小売店売上高は、前年同月比+4.5%（売場面積調整前）となり、32カ月連続で前年を上回った。食料品は、生鮮食品が堅調だったほか販売価格の上昇もあり、同+5.1%となった。衣料品は、夏物の出足が鈍く、同△3.4%だった。雑貨・その他は、化粧品や日用品が堅調で、同+2.3%となった。
- 5月の乗用車新車販売は、一部完成車メーカーの認証不正問題を起因とした生産・出荷停止の影響などにより前年同月比△2.2%と5カ月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は同+2.6%と2カ月連続で前年を上回ったものの、小型車は同△6.2%と8カ月連続で、軽自動車は同△4.0%と6カ月連続で前年を下回った。



公共工事保証請負額は5カ月連続で前年を上回る

- 5月の公共工事保証請負額は、前年同月比+55.2%の492億4,000万円となり、5カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、国が同+29.4%、県が同+0.5%、市町村が同+8.5%、独立行政法人等が同+134.3%、その他が同+120.0%といずれも増加した。
- 5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△8.4%の891戸と2カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家が同△5.7%、貸家が同△11.5%、給与が同△66.7%、分譲が同△12.2%といずれも減少した。



有効求人倍率は2カ月連続で前月を下回る

- 5月の有効求人倍率は、前月比△0.01ポイントの1.35倍となり、2カ月連続で前月を下回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比△2.0%となり、15カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△3.2%、パートは同+3.7%となった。主要産業別では、医療・福祉が同+3.9%、建設業が同+2.4%となるなど、7産業が前年を上回ったが、サービス業が同△7.9%、製造業が同△6.5%、卸売業・小売業が同△6.3%、宿泊業・飲食サービス業が同△8.1%などと、6産業が前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比+3.2%と2カ月連続で前年を上回った。
- 4月の名目賃金は前年同月比+1.9%と36カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△1.2%と28カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同△1.0%と13カ月連続で前年を下回った。

